

## 訓練コース募集要項

—2023 年度版—

### 1. はじめに

この訓練コースはサポチルが開設した精神分析的心理療法のための研修プログラムの自主性・自発性という理念は維持しながらも、確かな専門性を実感するために体系的な訓練内容を整備したものです。公認心理師という新たな潮流の中で、私たちは自身の専門性に対するアイデンティティが揺らぐ危機に直面しているといえます。

訓練コースはこれまで以上のサポートを整え、知識や技量の着実な定着と高い専門性に対する自負が得られていくように集中的な訓練を提供するものです。精神分析的心理療法の実践のみを目指すのではなく、各々の現場に即した実践を考えて行える自立した専門家を目指すものとなっています。

現在は、観察と臨床基礎コースに15名、セラピスト養成コースに8名の方が集中的な訓練を受けています。この度は2023年4月から訓練が開始される訓練生の募集を行います。以下にコースの紹介をしておりますので、ぜひご検討ください。

### 2. コースの特色

#### 1. より凝集性の強い研修内容

(定められた期間で知識や経験の確実な定着を目指す)

#### 2. 指導者による手厚いサポート

(来るもの拒まず、去る者追わずではなく、責任をもってサポートする)

#### 3. ピアグループを通じた相互サポートの強化

(同期とも同僚とも違う、同志による支え合いの場の提供)

#### 4. 初のゼミ形式の基礎セミナー

(講師のペースではなく、受講生の理解度に合わせて必要な内容を学ぶ)

#### 5. 年に3回の個別チュートリアル

(担当チューターと臨床・訓練上の悩みを相談する機会がある)

#### 6. セラピスト養成コースでは訓練生に臨床実践の機会の提供

(定期的な心理療法の現場がない方でも安心)

※ 関西までの移動が困難な方にもコースへのオンライン参加(Zoom等)を検討することとなりました。こちらはパイロットケースとなりますので、それぞれの方の置かれた状況に合わせて参加が可能かを相談しますので、詳細はお問い合わせください。特に「観察と臨床基礎コース」はすべてのセミナーでオンライン対応が可能となりましたが、講師に指定された数回は対面での参加が可能であることが条件となります。

### 3. コースの紹介

#### 【A: 観察と臨床基礎コース コース責任者: 松本拓真】

乳児観察を中心に、(子どもの)精神分析臨床に必要な基礎的スキルと知識を学びます。

セラピスト養成コースに進みたい人の基礎訓練コースです。

子どもの心理療法実践に携わらなくても、SC, 医療機関, 福祉施設などでそれぞれの臨床実践のため、精神分析の基礎的スキルや知識を生かしたい人向けのコースです。

**最短で2年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。**

	セミナー	乳児観察	ワーク ディスカッション
1年目	基礎セミナーⅠ(月2回) +文献講読Ⅰ(月1回) +文献講読Ⅲ(月1回)	週1回の乳児観察セミナーを受講し、自身が2年間の乳児観察を行う。	職場などの集団状況の観察を行い、基礎セミナーにてワークディスカッションを行う
2年目	基礎セミナーⅡ(月2回) +文献講読Ⅰ(月1回) + 文献講読Ⅲ(月1回)	(下記いずれかを選択)  御池 月曜 19時半～	
それ以降	文献講読Ⅰ(月1回)+文献講読Ⅲ(月1回)	梅田 土曜 10時半～	

#### 申請資格

1. NPO 法人子どもの心理療法支援会の正会員(専門会員もしくはボランティア会員)であること  
(2023年1月21日に行われる理事会までに承認された会員)
2. 乳児観察や精神分析の基礎を自分の今後の臨床に生かしたいという熱意があること

※乳児観察セミナー修了生も「観察と臨床基礎コース」のエントリーが可能です。

#### 必要書類の記入要項

##### ① 観察コース生申請書【様式1】

職歴欄が足りない場合は、主なものをご記入ください。

現在の職場の所属長もしくはスーパーバイザーなど2名に推薦人として署名をもらってください。

※他地区からの参加の場合、その地区の乳児観察セミナーリーダーを推薦人にしてください。

##### ② 訓練経過報告書【様式2】

これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。

スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。

「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。

③ 志望動機【様式 3】

なぜコースに入ろうと思ったのか、コースを修了した後、得られたものをどのように活かしていきたいと考えているかなどを自由にお書きください。

修了要件

- ① 2年間の乳児観察修了とエッセイ(修了レポートとなる)
- ② 文献講読Ⅰ・文献講読Ⅲのエッセイの提出し修了証を得ること(それぞれ2年以上)
- ③ 職場での観察とワークディスカッションによるエッセイ

コース料金

<p>コース受講料 年間 10 万円</p> <p>3 年目以降は年間 5 万円 + 文献講読セミナーの追加 1 講座につき 1 万円</p>
<p>コース内容:</p> <p>文献講読Ⅰ(会員価格 5 万円)+文献講読Ⅲ(会員価格 5 万円) +基礎セミナー(月 2 回、10 万円相当)+チュートリアル 3 回分(2 万円相当)</p>
<p>※ 乳児観察セミナー料金は、別途かかります(月 2 万円程度)。</p>

コース内容

関連するプログラム			講師	会場	定員	日時
基幹 セミナー	乳児観察セミナー		平井正三	御池 オンライン可	5 名	毎週月曜日 19:30~21:00
			鵜飼奈津子	梅田 オンライン可	5 名	毎週土曜日 10:30~12:00
	文献 講読 Ⅰ	フロイト	平井正三	御池 オンライン可	12 名	第2土曜日 18:00~20:30
		現代クライン	飛谷 渉	オンライン または ハイブリッド (なんば)	15 名	第4土曜日 18:30~21:00
	文献 講読					

		文献 講読 Ⅲ	「心の発達心理学」	(前半) 久保信代  (後半) 狗巻修司	(前半) オンライン  (後半) オンライン または ハイブリッド (御池)	12名	第2土曜日 16:30～18:30
				榊原久直	オンライン	12名	第3土曜日 19:00～21:00
訓練 コース	観 察 と 臨 床 基 礎 コ ー ス	基礎セミナーⅠ		松本拓真	オンライン		第1・3土曜日 14:00～16:00
		基礎セミナーⅡ		未定	未定		未定
		基礎セミナーⅢ		未定	未定		未定

## よくある質問

Q1. 観察する赤ちゃん家庭が見つからずでないとコースエントリーできないのか？

A. ご参加いただけます。逆に、乳児観察セミナーを受講される前に赤ちゃん家庭を見つけることはお控えください。臨床上でもアセスメントのプロセスが大事のように、赤ちゃんを見つけ、交渉し、乳児観察をするのに適した家庭であることを判断していくプロセスをセミナーの助けを借りて行う必要があります。

Q2. すべての内容をオンラインで受講できるのか？

A. 乳児観察セミナー以外は、オンライン受講可能です。乳児観察セミナーは、最初からオンラインで行うため 試行を始めている段階です。お住いの地域の状況とサポチルのサポートが提供できるかなどを含めて、個別の判断となる予定です。オンラインご希望の方は、志望動機の欄にオンライン受講を希望する旨をお書きいただきご提出ください。

ご心配な方は、事前にメールにて(事務局: [training@sacp.jp](mailto:training@sacp.jp) まで)ご相談ください。

**【B: セラピスト養成コース コース責任者: 平井正三】**

「観察コース」を修了した人で、「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできる力を培うためのコース(乳児観察修了者は本コースから開始可)。

本コース生は、訓練生として、サポチルの心理療法委託機関に所属し、アセスメントを含めた子どもの精神分析的心理療法実践の機会を得る(外部ケースも条件次第で訓練ケースにできる)。所属機関のアセスメントカンファレンス(月1回)に参加し、アセスメントの実際も学ぶ。

**最短で3年で修了(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。**

	コアセミナー	SV	個人分析	自由選択
1年目	GSV(月1回), 基礎セミナー(月1回)+アセスメントセミナー(月1回)	3例の訓練ケースについて、週1回もしくは隔週でSV受けること。(初年度は毎週) SVは2名以上(各1年以上)から受けること	訓練中は週1回以上の個人セラピーもしくは分析を受ける。  サポチル認定の「子どもの精神分析的心理療法SV」を目指す人は週2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献講読Ⅰ(4年未修の方は受講)</li> <li>・文献講読Ⅲ(最低1年。未修の方は受講)</li> <li>・アドバンスド文献セミナー(月2回/3年目以降の方対象)</li> <li>・アセスメントワークショップ(月2回/3年目以降の方対象)</li> </ul> 親面接セミナー(月1回) 思春期セミナー(月1回) の2種については、最低1年は受講すること
2年目	GSV(月2回) 文献セミナーⅠ(月1回) クライン派の基礎, ビオン, ウィニコット, タスティン, メルツァー			
3年目	GSV(月2回) 文献セミナーⅡ(月1回) 現代クライン派 アルヴァレズなど			
それ以降	GSV(月2回) <b>GSV以外のコアセミナー修了者は受講料を減額する</b>			

**申請資格**

- ・ NPO 法人子どもの心理療法支援会の専門会員であること
- ・ 自身が2年間乳児観察を行い、資格審査委員が認める乳児観察セミナーを受講済みである・「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできることを希望する
- ・ 週1回以上の個人セラピーを受けている、もしくは申し込み中である。

**必要書類の記入要項**

① 訓練生申請書【様式1】

職歴は欄が足りない場合は、追加して、すべての職歴についてご記入ください。

② 訓練経過報告書【様式2】

- ・ これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。

・「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。

③ 志望動機【様式3】

④ 乳児観察に関するエッセイ【書式自由】

自身が行った乳児観察について2年の経過をまとめ、考察をつけたエッセイをご提出下さい。乳児観察の経過がまとめられているなら、学会誌等に掲載された論文でも構いません。

## 修了要件

- ① アセスメントケース(子ども担当 2 ケース以上, 親担当 1 ケース以上の 3 ケースをそれぞれ 1000 字程度にて報告する)
- ② 週 1 回の精神分析的心理療法を 3 ケース以上  
それぞれ週 1 回(少なくとも 1 年)もしくは隔週の SV を受け, 1 年以上継続。2 名以上から受けること
- ③ SV を受けたケースの学会発表  
精神分析学会の研修症例発表か, それに準ずると認められる審査付きの発表
- ④ SV を受けたケースの論文発表(\*)  
精神分析学会の研修症例論文か, それに準ずると認められる査読付き論文
- ⑤ 未発表の訓練ケースは 3000 字程度のレポート
- ⑥ 文献講読 I (フロイト・クライン・ビオン・現代クライン)4 年分と文献講読Ⅲ(少なくとも 1 年以上)のエッセイの提出し修了証を得ること

### (\*) 修了論文と審査

セラピスト養成コースを修了するには、修了論文を提出し、審査を受ける必要があります。修了論文は、スーパービジョンを受けた訓練ケースのいずれか(精神分析学会の研修症例論文に加筆修正を加えたものであるならば可)について書いたものに限り、字数は、15000 字以内とします。

## コース料金

コース受講料(初年度・年間 25 万円/2 年目以降・年間 20 万円)
コース内容: 基礎セミナー(5 名以下で SV によるセミナー 年 8 万円相当)+チュートリアル 3 回(2 万円相当)+アセスメントセミナー(5 万円相当)+思春期セミナー(5 万円相当)+親面接セミナー(5 万円相当)+GSV(1 年目月 1 回:6 万円相当, 2 年目月 2 回:12 万円相当) 未受講者は、文献講読 I (会員 5 万円)+文献講読Ⅲ(会員 5 万円) 通常、1 年目 26 万円, 2 年目 32 万円相当(文献講読の未受講者はさらにお得)が受講できます。

個人 SV・個人セラピーの料金は、コース受講料(担当者ごとに異なる)が別途かかります。

個人 SV の優先的なマネジメントとサポチル指定 SV についてはスーパーバイズ料金を大幅な減額(毎週 SV を定価の 2000 円引きで最大 40 回まで、年間 8 万円引き)

※所属機関での訓練ケースから報酬を得ることができます。

## コース内容

関連するプログラム			講師	会場	定員	日時	
基礎 セミナー	文献 講 読	文献 講 読 I	フロイト	平井正三	御池 オンライン可	12名	第2土曜日 18:00~20:30
			現代クライン	飛谷渉	オンライン または ハイブリッド (なんば)	15名	第4土曜日 18:30~21:00
	文献 講 読 III	「心の発達心理 学」	(前半) 久保信代	(前半) オンライン	12名	第2土曜日 16:30~18:30	
			(後半) 狗巻修司	(後半) オンライン または ハイブリッド (御池)			
		榊原久直	オンライン	12名	第3土曜日 19:00~21:00		
応用 セミナー	思春期青年期の 精神分析的な心理療法セミナー		飛谷渉	オンライン または ハイブリッド (なんば)	15名	第2土曜日 18:30~21:00 (月により第5土曜日開催)	
訓練 コース	セラ ピ ス ト 養 成 コ ー ス	基礎セミナー	松本拓真	オンライン		第3土曜日 16:30~18:30	
		アセスメントセミナー	鵜飼奈津子	大阪		第2+第4土曜日 16:30~18:30 (第5もあり)	
		文献セミナー・アドバンス	西村理晃	オンライン		第2+第4金曜日 21時/20時(夏時間)~1h	
		GSV	鵜飼奈津子	新大阪		第2水曜日 10:30~12:00	
			西村理晃	オンライン		第1+第3金曜日 21時/20時(夏時間)~1.5h	
アセスメント ワークショップ	平井正三	御池 オンライン		第2+第4土曜日 17:00~18:00			

## よくある質問

Q1. 自分が個人セラピーを受けている分析家のセミナーが取得しにくいですが、どうすればいいか？

A. セラピスト養成コースにおいては、個人セラピーを受けることが必須となっております(コース修了まで受け続けます)。しかし、現在セラピーを提供できる人が限られており、セミナー講師と重なることがかなりあると思います。その場合は、基本的には個人セラピーを優先します。このために受講できなかったセミナーについて、自身のチューターと相談のうえ、代替となる講義を得られるように工夫を考えていきますが、やむを得ず受講できない場合は年間受講料から1セミナー当たり3万円を減額いたします。

Q2. 遠方でも委託心理療法機関(御池もしくは京橋)に所属しなければならないのか？

アセスメントカンファレンスへの出席は不可欠なのか？

A. 次年度よりコースのセミナー関係はオンラインでも受講できるように準備を進めております。ただ、遠方の場合でも、どちらかの機関に所属して心理療法訓練を行うことを推奨します。お勤めの機関が精神分析的な心理療法を行うのに適していると判断された場合は、その機関でのケースを訓練ケースとして認めますが、各機関のアセスメントカンファレンスも参加を推奨します。やむをえない事情の場合は、配慮いたします(Zoom参加など)。いずれにせよ、コースに入る際の面接で、その後はチューターとの相談にて、個別な事情についてはご相談ください。

Q3. セラピスト養成コースは、サポチル認定の「子どもの精神分析的な心理療法士」の要件より厳しいのはなぜか？資格取得がゴールではないのか？

A. セラピスト養成コースの目標は、セラピストとしての独り立ちと指導者となりうるだけの専門性への自信を身に付けることです。そのため、資格要件よりも厳しくなっています。コースの途中で「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格を取得する方も出てくると思いますが、それでコースを辞める必要はありません。また、コースの中でサポチルの認定の「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー(コンサルタントセラピスト)」資格が取得しやすくなるようサポートしていきます。



#### 4. 申請書類提出先, 問い合わせ先

2023年1月22日(日) 申請書類締め切り(PDFにてメール提出)

[training@sacp.jp](mailto:training@sacp.jp) : 認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会 訓練コース事務局  
604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町 444 初音館 302  
Tel&Fax: 075-600-3238 HP: <http://sacp.jp/>

\* 提出書類については、記載漏れのないように、黒ボールペン、ワープロ等により、はっきりと書いて下さい。また、自筆による署名と捺印が必要な箇所がありますので、ご注意ください。記入した申込書をスキャンもしくは写真で撮影し、ファイルを添付したメールでご応募ください。持参、郵送でも受け付け可能ですが、提出時に その旨をメールしてください。

\* 申請書が問題なく受理されたら、コース委員による面接と環境調整の相談が開始します。2023年2月下旬頃までに受理会議にて可否の決定(セラピスト養成コースは所属先も決定)、2023年4月～観察コース生、訓練生としての生活が始まります。

\* 本コースは、参加者のグループによるメンバーシップを重視しているため、各コースの参加者は多くても6名までとし、3名に満たなかった場合は開講を見合わせます。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。